

報道機関各位

熊本大学

第2回熊本大学沿岸域環境拠点研究グループシンポジウム
～有明海・八代海の環境と再生に向けて～

熊本大学沿岸域環境科学教育センター、理学部、工学部、文学部の教員が協力して、「沿岸海域の豊かな社会環境創生」を目指す研究拠点が設置され、2008年度から有明海、八代海および東アジアの沿岸環境の研究を始めました。昨年のキックオフシンポジウムに引き続き、市民の皆様にも、この拠点の研究内容や外国の研究者との共同研究の内容をご紹介します。

【日時】11月20日(土)13:00～17:00

【場所】熊本市国際交流会館5F大広間

【定員】100名

【参加費】無料(事前申し込みは不要です)

【プログラム】別紙参照

主催：熊本大学拠点研究B「閉鎖性沿岸海域における環境と防災、豊かな社会環境創生のための先端科学研究・教育の拠点形成」

【お問合せ先】

〒860-8555

熊本市黒髪2-39-1

熊本大学教育研究推進部自然科学系事務U

研究センター支援担当(中島・杉山)

TEL. 096-342-3143(直通), FAX. 096-342-3010

第2回熊本大学沿岸環境拠点研究グループ シンポジウム

～有明海・八代海の環境と再生に向けて～

- 日時：11月20日（土） 13:00 - 17:00
- 場所：熊本市国際交流会館5F 大広間
- 定員：100名
- 参加費：無料（事前申し込みは不要です）
- プログラム：
 - 13:00 - 13:10 開会の挨拶
 - 13:10 - 14:00 閉鎖性海域環境の捉え方と再生への技術体系
滝川 清 教授（沿岸域環境科学教育研究センター）
 - 14:00 - 14:20 今年度の取り組み事例の紹介
海外との共同研究／八代海を対象とした研究
森村 茂 准教授（大学院自然科学研究科）
 - ～14:20 - 14:30 休憩～
 - 14:30 - 15:00 写真で見る有明海・八代海沿岸の今と昔
岩崎竹彦 准教授（五高記念館）
増田龍哉 特任助教（大学院先導機構）
 - 15:00 - 15:20 モニタリングロボットによる3次元環境調査
秋元和實 准教授（沿岸域環境科学教育研究センター）
 - 15:20 - 15:40 有明海・八代海の生物多様性
逸見泰久 教授（沿岸域環境科学教育研究センター）
 - 15:40 - 16:00 植物の多様性～塩生植物を中心に～
滝尾 進 教授（沿岸域環境科学教育研究センター）
 - 16:00 - 16:20 底生生物の多様性
嶋永元裕 准教授（沿岸域環境科学教育研究センター）
 - 16:20 - 16:50 二枚貝による底質浄化
豊永悟史 大学院生・中田晴彦 准教授（大学院自然科学研究科）
 - 16:50 - 17:00 閉会の挨拶

主催：熊本大学拠点研究B「閉鎖性沿岸海域における環境と防災、豊かな社会環境創生のための先端科学研究・教育の拠点形成」

【問合せ先】 〒860-8555 熊本市黒髪 2-39-1

国立大学法人熊本大学自然科学系事務ユニット 中島・杉山

TEL 096-342-3143 E-mail: szk-center@jimu.kumamoto-u.ac.jp